

平成30年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）の概要

県人口 6,270,118人(平成31年1月1日現在)

人 口 班

電話 043-223-2223

1. 人口総数

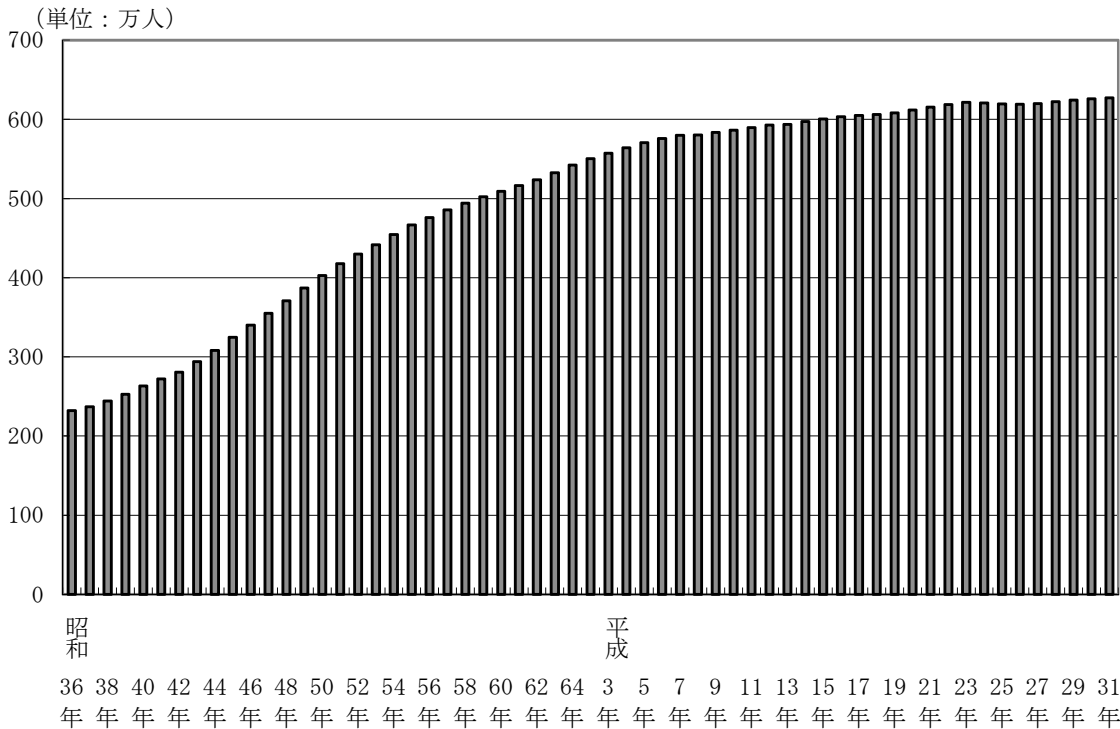
県人口 627 万人

平成 31 年 1 月 1 日現在の本県の人口は 6,270,118 人で、前年人口の 6,257,886 人に比べ 12,232 人、率にして 0.20% 増加した。本県の人口は、大正 9 年 10 月 1 日現在(国勢調査) 1,336,155 人で、その後増加を続け、昭和 49 年 11 月 1 日現在では 400 万人を超えて、4,002,808 人となった。さらに、昭和 58 年 10 月 1 日現在では 500 万人を超え 5,002,542 人となり、平成 14 年 9 月 17 日に 600 万人を突破した。平成 23 年に初めて減少に転じ、平成 25 年まで 3 年連続で減少したが、平成 26 年に再び増加に転じ、以降は平成 30 年まで引き続き増加している。

平成 27 年国勢調査によると、本県の人口は、6,222,666 人で全国第 6 位となっている。

また、本県の外国人数は平成 31 年 1 月 1 日現在 127,029 人で、前年の 116,836 人に比べ 10,193 人、率にして 8.72% 増加しており、県人口の 2.0% を占めている。

図1 千葉県人口の推移(昭和36年~平成31年、各年1月1日現在)



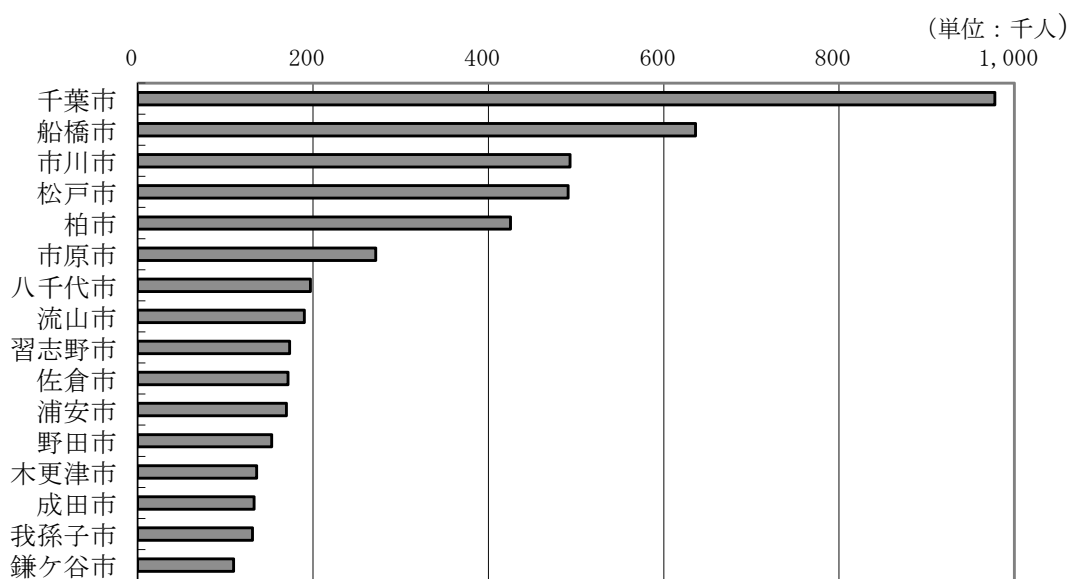
千葉市人口 97 万 7 千人
県人口の 15.6% を占める

平成 31 年 1 月 1 日現在の県人口を市町村別にみると、市部(37 市)のうち 10 万人以上の市は 16 市あり、そのうち千葉市が 977,752 人(県人口に占める割合 15.6%) で最も多く、郡部人口 201,818 人(同 3.2%) の約 4.8 倍となっている。以下、船橋市 636,322 人(同 10.1%)、市川市 492,983 人(同 7.9%)、松戸市 490,875 人(同 7.8%)、柏市 425,195 人(同 6.8%) の順で続き、この 5 市で県人口の 48.2% を占めている。

郡部(16 町 1 村)では、横芝光町が 22,805 人(同 0.4%) で最も多く、以下、酒々井町 20,559 人(同 0.3%)、栄町 20,444 人(同 0.3%)、九十九里町 15,361 人(同 0.2%)、多古町 14,145 人(同 0.2%) の順となっている。

また、本県の外国人人口を市町村別にみると、千葉市が 21,370 人(県外国人人口に占める割合 16.8%) で最も多く、以下、船橋市 15,644 人(同 12.3%)、松戸市 12,827 人(同 10.1%)、市川市 11,026 人(同 8.7%)、柏市 7,642 人(同 6.0%) の順となっている。

図2 10万人以上の市



2. 人口増減

人口増減数 1万2千人 増減率 0.20%

平成30年中の本県の人口増減は、増減数12,232人、増減率0.20%で、前年(15,412人、0.25%)より減少した。うち、外国人人口増減は、増減数10,193人、増減率8.72%で、前年(12,649人、12.14%)より減少した。

近年の人口増減率の推移をみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割った。その後、平成23年に初めてマイナスに転じて以降、平成25年(-0.02%)までマイナスが続いたが、平成26年は増加に転じた。

自然増減数は減少

平成30年中の自然増減は、増減数-15,246人(出生44,591人、死亡59,837人)で、前年の-13,969人(出生45,243人、死亡59,212人)に比べ出生が652人減少し、死亡が625人増加して自然増減数は1,277人減少した。うち、外国人の自然増減は、増減数855人(出生1,091人、死亡236人)で、前年の874人(出生1,089人、死亡215人)に比べ出生が2人増加し、死亡が21人増加して自然増減数は19人減少した。

近年の自然増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する自然増減総数の割合)でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移していたが、平成23年に初めてマイナスに転じ、平成30年も-0.24%となった。

社会増減数は減少

平成30年中の社会増減は、増減数27,478人(転入200,419人、転出169,228人、県内の移動-361人、その他-3,352人)で、前年に比べ1,903人減少した。うち、外国人の社会増減は、増減数9,338人(転入44,526人、転出29,589人、県内の移動-75人、その他-5,524人)で、前年に比べ2,437人減少した。

前年の増減数29,381人(転入195,000人、転出164,831人、県内の移動-511人、その他-277人)と比較すると転入が5,419人増加、転出が4,397人増加、県内の移動が150人増加、その他が3,075人減少している。また、外国人は前年の増減数11,775人(転入40,137人、転出25,186人、県内の移動-100人、その他-3,076人)と比較すると転入が4,389人増加、転出が4,403人増加、県内の移動が25人増加、その他が2,448人減少している。

近年の社会増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合)でみると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回った。平成23年、24年はマイナスとなったが、平成25年に増加に転じ、平成30年は0.44%となった。

図3 人口増減率の推移（昭和36年～平成30年）

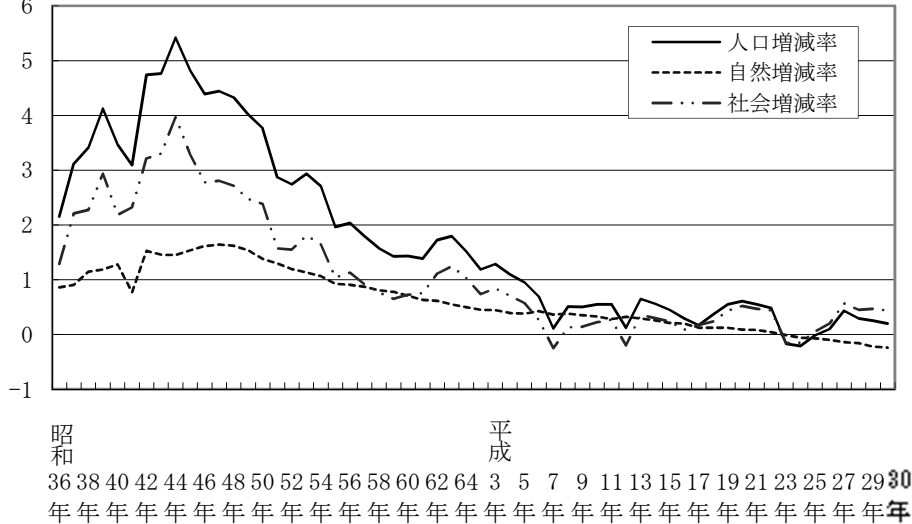


表1 月別動態別人口増減数（平成30年中）

	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-1,608	-2,511	3,907	6,418	903	12,208	10,906	-216	-183
2月中	-2,030	-2,111	3,360	5,471	81	12,027	11,446	-327	-173
3月中	1,947	-1,603	3,574	5,177	3,550	34,904	30,499	-604	-251
4月中	7,774	-1,034	3,385	4,419	8,808	28,296	19,731	421	-178
5月中	2,623	-671	4,210	4,881	3,294	15,187	12,051	348	-190
6月中	1,325	-694	3,536	4,230	2,019	13,651	11,301	-92	-239
7月中	1,009	-798	3,917	4,715	1,807	15,277	12,950	2	-522
8月中	-159	-735	4,068	4,803	576	14,336	13,476	86	-370
9月中	-182	-899	3,481	4,380	717	13,310	11,912	-346	-335
10月中	2,535	-1,093	4,142	5,235	3,628	16,077	12,392	272	-329
11月中	-174	-1,478	3,547	5,025	1,304	12,727	11,200	-33	-190
12月中	-828	-1,619	3,464	5,083	791	12,419	11,364	128	-392
計	12,232	-15,246	44,591	59,837	27,478	200,419	169,228	-361	-3,352

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

**16市町で人口増加
最高増減率は流山市2.74%**

平成30年中の人口増減を市町村別にみると、16市町で人口が増加し、38市町村で減少した。増加数では、流山市が5,074人で最も多く、以下、船橋市4,081人、柏市3,595人、市川市2,931人、千葉市2,217人と続いている。逆に、減少数では銚子市が1,374人で最も多く、以下、市原市968人、八街市947人、香取市933人、君津市793人の順となっている。

また、増加率では流山市が2.74%で最も大きく、以下、印西市2.07%、袖ヶ浦市1.26%、四街道市0.93%、浦安市0.89%と続いている。逆に、減少率では芝山町が2.66%で最も大きく、以下、鋸南町2.55%、大多喜町2.37%、勝浦市2.23%、銚子市2.23%の順となっている。

表2 人口増減数上位5市町村（平成26年～平成30年）

順位	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	市川市	3,609	市川市	9,299	流山市	4,389	流山市	4,823	流山市	5,074
2	船橋市	3,437	千葉市	5,487	市川市	4,184	船橋市	4,580	船橋市	4,081
3	流山市	2,873	柏市	5,275	船橋市	4,128	市川市	3,861	柏市	3,595
4	千葉市	2,325	船橋市	3,872	柏市	3,689	柏市	3,743	市川市	2,931
5	柏市	2,207	流山市	3,525	習志野市	3,023	千葉市	2,226	千葉市	2,217

順位	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	銚子市	1,226	市原市	2,002	銚子市	1,191	市原市	1,386	銚子市	1,374
2	香取市	1,060	香取市	1,053	香取市	1,033	銚子市	1,297	市原市	968
3	山武市	879	銚子市	960	君津市	895	香取市	1,144	八街市	947
4	八街市	843	君津市	952	八街市	707	君津市	948	香取市	933
5	市原市	703	匝瑳市	887	山武市	704	旭市	826	君津市	793

表3 人口増減率上位5市町村（平成26年～平成30年）

順位	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%
1	流山市	1.70	流山市	2.05	流山市	2.50	流山市	2.68	流山市	2.74
2	習志野市	0.80	市川市	1.97	印西市	2.39	印西市	2.13	印西市	2.07
3	市川市	0.77	木更津市	1.59	習志野市	1.79	袖ヶ浦市	0.97	袖ヶ浦市	1.26
4	船橋市	0.56	八千代市	1.32	浦安市	1.53	四街道市	0.96	四街道市	0.93
5	木更津市	0.55	睦沢町	1.31	柏市	0.89	八千代市	0.90	浦安市	0.89

順位	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%
1	長南町	2.19	白子町	2.74	勝浦市	2.72	長南町	2.76	芝山町	2.66
2	芝山町	2.18	鋸南町	2.72	九十九里町	2.10	勝浦市	2.73	鋸南町	2.55
3	鋸南町	2.15	御宿町	2.62	大多喜町	1.86	九十九里町	2.50	大多喜町	2.37
4	大多喜町	2.12	匝瑳市	2.33	銚子市	1.86	銚子市	2.06	勝浦市	2.23
5	勝浦市	1.89	長柄町	2.09	鋸南町	1.71	鋸南町	1.94	銚子市	2.23

図4 市町村別人口増減率（平成30年1月～12月）



3. 人口密度

**県人口密度 1,215.7 人/k²
市町村別人口密度は浦安市が
9,807.7 人/k²で最高**

本県の人口密度は、平成 31 年 1 月 1 日現在 1,215.7 人/k²で、前年の人口密度(1,213.3 人/k²)に比べ 2.4 人/k²高くなった。市郡別にみると、市部 1,377.4 人/k²、郡部 268.4 人/k²で、市部は郡部の約 5.1 倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が 9,807.7 人/k²で最も高く、以下、市川市 8,581.1 人/k²、習志野市 8,255.2 人/k²、松戸市 7,997.3 人/k²、船橋市 7,431.9 人/k²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町 70.8 人/k²、長南町 117.2 人/k²、長柄町 149.0 人/k²、南房総市 160.6 人/k²、芝山町 164.4 人/k²の順となっている。

4. 世帯数

**県世帯数 273 万世帯
1 世帯当たり人員は 2.30 人**

平成 31 年 1 月 1 日現在の本県の世帯数は 2,730,901 世帯で、前年の世帯

数 2,692,483 世帯に比べて 38,418 世帯増加し、増減率では 1.43%となり、人口増減率 0.20%よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.30 人で、前年の 2.32 人に比べ 0.02 人減少した。

また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 2.90 人が最も多く、以下、芝山町 2.86 人、睦沢町 2.81 人、匝瑳市 2.77 人、長南町 2.74 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.05 人で、以下、勝浦市 2.10 人、浦安市 2.14 人、松戸市 2.17 人、船橋市 2.22 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 14 市町で、多いのは 40 市町村となっている。

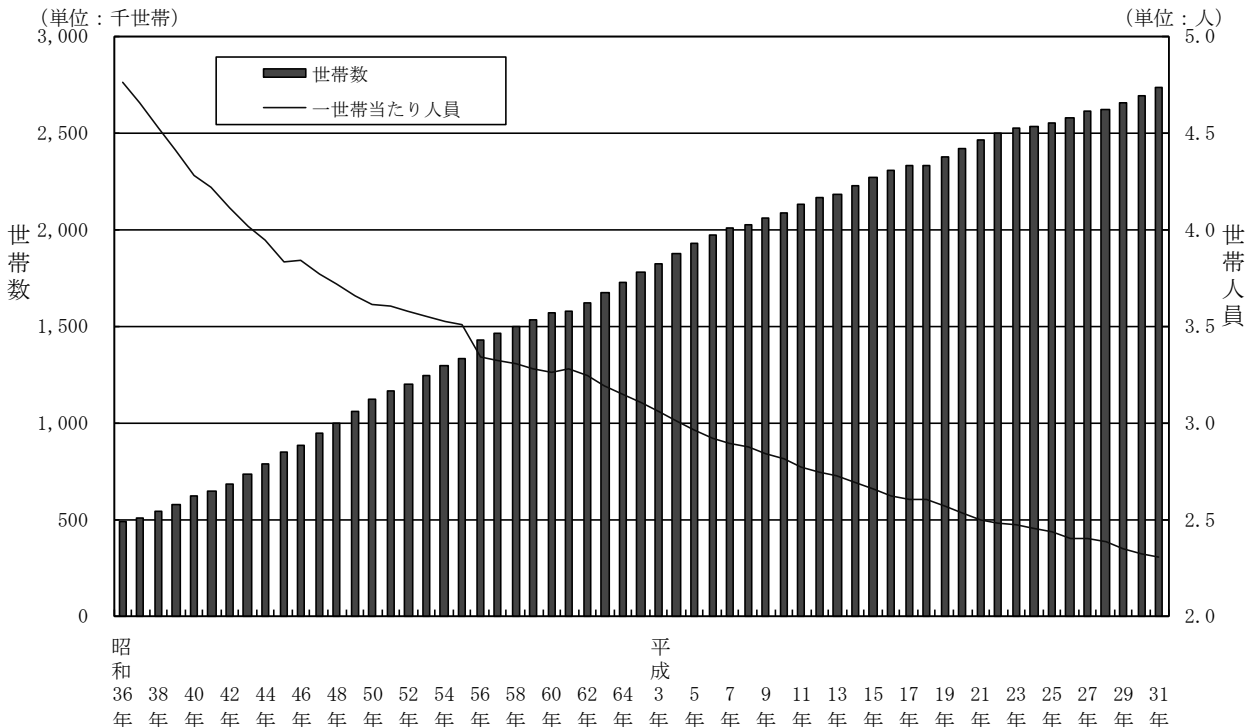
表 4 月別世帯増減数 (平成 30 年中)

(単位：世帯)

	増減数	転入	転出	その他
1月中	439	8,182	6,507	-1,236
2月中	126	7,861	6,946	-789
3月中	10,921	23,294	14,088	1,715
4月中	11,109	19,197	9,835	1,747
5月中	3,661	10,408	6,715	-32
6月中	2,528	9,183	6,561	-94
7月中	1,860	10,024	7,631	-533
8月中	1,202	9,435	7,890	-343
9月中	1,521	9,389	7,137	-731
10月中	2,995	11,058	7,747	-316
11月中	1,465	8,838	6,869	-504
12月中	591	8,214	6,802	-821
計	38,418	135,083	94,728	-1,937

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図 5 世帯数及び世帯人員数の推移 (昭和 36 年～平成 31 年、各年 1 月 1 日現在)



5. 県外との人口移動

人口移動総数 36万9千人
移動率 5.90%

平成30年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、369,647人で前年の359,831人に比べ9,816人増加し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は5.90%と、前年の5.75%に比べて0.15ポイント上昇した。

3万1千人の転入超過
転入超過率 0.50%

平成30年中の県外からの転入者数は200,419人（前年195,000人）、転出者数は169,228人（同164,831人）で、転入超過数は31,191人（同30,169人）となった。

また、平成30年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.50%となり、前年の0.48%に比べて0.02ポイント上昇した。

なお、県外（46都道府県）との関係は、42道府県から転入超過となり、4都県へ転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成11年～平成30年）

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成11年	400,780人	6.78%	15,562人	0.26%	208,171人	192,609人	5,910,682人
12年	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13年	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944
25年	327,570	5.29	6,982	0.11	167,276	160,294	6,191,925
26年	328,341	5.30	15,435	0.25	171,888	156,453	6,195,734
27年	348,343	5.61	21,979	0.35	185,161	163,182	6,207,032
28年	347,940	5.58	28,964	0.46	188,452	159,488	6,239,018
29年	359,831	5.75	30,169	0.48	195,000	164,831	6,254,216
30年	369,647	5.90	31,191	0.50	200,419	169,228	6,267,917

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成26年～平成30年）

順位	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	茨城県	1,270人	茨城県	1,363人	茨城県	1,657人	茨城県	1,292人	茨城県	1,512人
2	大阪府	1,159	福岡県	1,220	大阪府	1,200	福岡県	1,200	大阪府	1,276
3	兵庫県	981	北海道	1,142	福岡県	1,127	大阪府	886	福岡県	1,002
4	北海道	979	大阪府	886	兵庫県	911	宮城県	805	宮城県	892
5	新潟県	698	兵庫県	882	北海道	816	青森県	709	北海道	681
順位	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	5,484人	東京都	5,760人	東京都	1,953人	東京都	1,165人	東京都	1,939人
2	神奈川県	519	神奈川県	542	埼玉県	887	埼玉県	646	神奈川県	1,135
3	埼玉県	151	埼玉県	516	神奈川県	65	神奈川県	559	埼玉県	936
4					群馬県	13	群馬県	86	鳥取県	14
5					三重県	12				